

広報 すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

{ 2/1 }
令和5年(2023年)
No.2346

新型コロナウイルスに関する
最新情報はこちらで
ご確認ください

区では、区ホームページやツイッターで、
随時情報をお伝えしています。



新型コロナウイルス
感染症情報
(区ホームページ)



杉並区公式ツイッター
(地震・水防情報等)
@suginami_tokyo



特集

子どもたちに本の楽しさを伝える 地域・家庭文庫

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📰 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が変更・延期または中止になる場合があります。
最新情報は、区ホームページをご確認ください。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

子どもたちに本の楽しさを伝える 地域・家庭文庫

おうち空間で読書!



皆さんは「地域・家庭文庫」をご存じですか。区民の方が、自宅などを利用して、地域の子どもたち等に本の楽しさを伝え、読み聞かせや本の貸し出しなどを行っています。今号では、アットホームな空間で子どもたちの読書活動を推進している「地域・家庭文庫」についてお知らせします。

—問い合わせは、中央図書館事業係 ☎3391-5754へ。

地域・家庭文庫って?

地域・家庭文庫は、自宅等を開放して、地域の子どもたち等に家庭的な空間の中で読書の場を提供しています。また、図書の閲覧・貸し出しだけでなく、読み聞かせや人形劇など、それぞれの文庫でさまざまな文化活動も行っています。

区では、地域・家庭文庫へ図書を貸与するなど、活動を支援しています。

それぞれの文庫ごとに
さまざまな催しを開催!



区の支援文庫
7カ所!

子どもだけでなく、地域の皆さんの居場所でありたい。

— 地域・家庭文庫の活動を始めたきっかけを教えてください。

坪内：子育てが一段落して、「何か始めよう」と思ったときに浮かんだのが絵本と子どもでした。子どもの頃はとにかく絵本が好きで、絵本作家にも憧れていました。素晴らしい絵本と子どもたちを結び付けるきっかけになれば、と活動を始めて、ちょうど20年になります。



神保：大学で幼児教育を専攻していて、ゼミでは絵本について学んでいました。荻窪にある「かつら文庫」の存在を知って、「いつか家庭文庫を開きたい」という夢をずっと持っていたんです。夫の転勤先の香港で絵本の会を始め、杉並区に引っ越したときにポプラ文庫を引き継ぎました。その後シンガポールに転勤し、向こうでも文庫活動を続けました。帰国後、しばらくして自宅で「ちゅうりっぷ」を立ち上げました。

澁川：大学で図書館学を学んでいたのですが、たまたま家庭文庫のお手伝いをしていて、子どもたちと接することがとても楽しかったんです。どこかにその記憶が残っていたんでしょうね。子育てをして家に本が増えていくうちに、ふと文庫を開こうと思いついたんです。もうすぐ46年目です。



左から、神保さん(子どもの本の家ちゅうりっぷ)、澁川さん(パンビぶんこ)、坪内さん(ちいさいおうち文庫)

— やりがいや喜びを感じるのはどんなときでしょうか?

神保：文庫に来て、肩の力を抜いてほっとしている子どもの姿を見ると、この場所をつくって良かったと感じます。子どもたちにとって、親でも先生でもない、「干渉しない大人」って必要な存在だと思うんです。干渉はしないけれど、しっかり見守られている。子どもたちにとって、そんな安心感のある居場所になればと願っています。

坪内：地域の子どもの成長を見守ることができるのがうれしいです。ずいぶん昔ですが、友達に連れられて来た男の子がいました。本にはあまり興味がないみたいで、友達としゃべったり、遊んだり。学校はあまり好きじゃないみたいだったんですが、文庫で何かイベントをやるとなるとすごく張り切って手伝ってくれました。その子が今はもう社会人なんです。道で会うとあいさつをしてくれて、「お世話になりました」と声をかけてくれます。あの男の子がこんなに立派になったのか…と感慨深いですね。

澁川：45年間も文庫を続けていると、子どもの頃に通っていたお母さんが、お父さんを連れて通ってくださるようになるんです。「これ、お母さんも読んでんだよ」「私もこの場面が一番好き」なんて、世代を超えて同じ本を読み、しかも同じ場面を共有しているのを見たりするのはとてもうれしいですね。

— 心に残っている一言やエピソードがあれば教えてください。

神保：親子で一緒に来る方が多いんですが、大人がくつろげるお部屋もあるので、子どもはお母さんやお母さんで別々に過ごすことができるんです。お母さんから離れたところで、ぼろっと本音を話してくれるお父さんもいます。一方、お母さんもゆっくり本をめくって自分の時間を過ごしていて…。帰ると





「出前文庫」として
あちこちへ本を届けています。

① ジルベルト文庫
高井戸西3-6-22
毎週水曜日、第3土曜日/
午後2時~5時 ☎090-3697-6270



半地下があって、
まるで隠れ家のような雰囲気です。

② ちいさいおうち文庫
今川3-4-9
毎週水曜日/午後2時~5時
☎3301-3035



手作り遊びなどのレクリエーション
も随時行っています。

③ パンビぶんこ
高井戸東4-19-1
毎週水曜日/午後2時~5時
☎3334-7881



絵本に限らず、
さまざまなジャンルの本があります。

④ ポケット文庫
天沼1-24-7
毎週火曜日/午後3時~5時
☎3391-5743



1974年から地域で
引き継がれている文庫です。

⑤ ポプラ文庫
井草1-52-2 第3木曜日/午後3時
~5時30分 ☎3396-0937
※開催場所はランドメゾン杉並シーズン
(井草2丁目)。



絵本翻訳家が運営している
家庭文庫です。

⑥ このあの文庫
本天沼1-27-5
毎週土曜日/午後2時~5時
☎konoano_bunko@yahoo.co.jp



おはなし会や、わらべうたの会を
開いています。

⑦ 子どもの本の家ちゅうりっぷ
下井草2-23-12 月2回土曜日、
月1回水曜日/午前10時~午後4時
☎tulibrary@gmail.com

子どもたちが本と触れ合える
環境づくりを目指します!



※開いている時間等に変更がある場合があります。詳細は、各文庫までお問い合わせください。

Check!

「地域・家庭文庫」の 新規登録を受け付けています

内容：中央図書館からの図書の貸与など
 対象：自宅などで、地域の子どもたち等に無償で図書の閲覧・貸し出しと、クリスマスおはなし会などの文化活動を既に行っており、これらの活動実績（登録者数・利用者数・貸出冊数等）を報告することができる個人または団体
 申し込み・問い合わせ：電話または直接、中央図書館事業係（荻窪 3-40-23 ☎3391-5754）